

学校だより



夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！
横浜市立鴨居小学校



電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

春 爛 漫

校長 大森 英司

横浜線の車窓から鶴見川の土手の桜を眺めた後、坂道を登りながら長屋門の前の見事なしだれ桜に見とれる。北門をくぐれば、フラワーメイツの方々が植えてくれたパンジーやストックが色鮮やかに咲き、水仙や雪柳も美しい。そして、校舎や体育館を桜の花吹雪が彩り、2年生が1年生の時に育てたチューリップが花開き、入学や進級を祝うかのようだ。スタートにふさわしい。

先日のゴールも素晴らしかった。卒業式だ。歌、ことば、返事、姿勢、顔・・・そして、涙。小学校生活6年間での頑張りや思い出が凝縮され、涙となるのだろう。感動した。

私は式辞の中で、修学旅行中に会った「一人ひとりが自分で考えて、自分で判断し、行動する姿」をたたえさせてもらった。本当に素晴らしいと思ったからだ。

送り出す5年生、つまり、今回、6年生に進級した児童も素晴らしかった。毎年思うのだが、5年生は卒業式に出席した後に大きく成長する。立派に卒業していく上級生を見て、最高学年としての自覚が生まれるのだろう。今年の6年生も学校の顔として活躍してくれることは、間違いない。

ゴールとしての儀式は「卒業式」であるが、内容としては、「一人ひとりが自分で考えて、自分で判断し、行動する」ことだと思う。

鴨居小では、約束事はあるが、何でもかんでも一律ではない。ゴールの姿を実現させるためだ。もちろん、しっかり教え込むことは教え込むし、ルールを敷くこともあるし、型から入る場合もある。しかし、あくまでゴールに近づくためであり、最終的には自分で考えて、行動できるようにすることが重要だと思っている。自分で考える体験を重ねる中で失敗もあるが、失敗を恐れない。

子どもにそのような行動を求めるのであれば、教職員も自分で考えて行動できる人にならなければいけない。決まりだからやる、指示されたからやる、マニュアルにあるからやる、のではない。より正しいこと、より美しいこと、より温かいことを求めて、考えに考えを重ね、議論し、実行していく。そのような教職員集団であることを誇りに思うし、人間味あふれる学校であることの最大の要因である。

140周年を迎える今年度もゴールの喜びを味わえるよう、最大の努力を惜しまない。今までと変わらない応援をお願いしたい。

学校教育目標

- ㊦ 課題解決に向け、粘り強く取り組む子を育てます。 (知)
- ㊧ 物事の善悪をきちんと判断し、思いやりのある子を育てます。 (徳)
- ㊨ 命と体を大切にすることを育てます。 (体)
- ㊩ のびのびと地域や社会に役立つ子を育てます。 (公)
- ㊪ コミュニケーションを大切にして、違いや共通点を理解する子を育てます。 (開)